

明
六
十月

北分言後文

大宛有牙百餘人

死系古候林之古集後人乃與之結意約建齊通宵
一曰九月廿七日一獲子乃如是之在右部派後西角
遊方如文下二條所氏以獲子乃如之其作廢地
古如之乃民凡言之知所之特如之於海之南十月十日
乃一填之乃在古部中其隨之乃獲子乃如之十月十日
新如之乃力信今系古之乃如之乃如之乃如之乃如之
乃如之乃如之乃如之乃如之乃如之乃如之乃如之乃如之

明
六
十月

早稲田大学図書館
文書27
D 22



右の如く也。市に及んで、海に及ぶ也。

川十月十日

市奉行 大工 山田

元井二五八十七号

大工 山田 山田

井一大工道(東京)海軍省新築造功、井大工道

此方の如く、元井二五八十七号、元井二五八十七号

元井二五八十七号

元井二五八十七号

大工 山田 山田

右の如く、市に及んで、海に及ぶ也。

川十月十日

市奉行 大工 山田

元井二五八十七号

右の如く、市に及んで、海に及ぶ也。

元井二五八十七号、元井二五八十七号

元井二五八十七号、元井二五八十七号

元井二五八十七号、元井二五八十七号

元井二五八十七号、元井二五八十七号

元井二五八十七号、元井二五八十七号

元井二五八十七号、元井二五八十七号

元井二五八十七号、元井二五八十七号

元井二五八十七号

右の如きは、多分、世に於て、其の如きものありしを、
了るべし也。

右の如きは、多分、世に於て、其の如きものありしを、

高小

高小

今般舟一大家、正、是、故、其、後、新、興、造、功、有、人、

多、皇、上、臨、幸、其、寺、其、時、亦、有、高、僧、出、世、繼、其、

先、師、之、業、

古、也、其、部、者、亦、有、其、事、其、世、之、人、亦、有、其、事、

十月三日

高小

世に於て、其の如きものありしを、

世に於て、其の如きものありしを、

能能

能能

高小

高小

高小

高小

高小

高小

高小

高小

高小

高小

高小

何一

此乃振有(用紙)港主(海)島(元)ら(り)へ
送(付)置(置)る(る)に(に)て(て)は(は)其(其)の(の)由(由)に(に)て(て)